



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月10日

上場会社名 大日精化工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 4116 URL <https://www.daicolor.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）高橋 弘二
問合せ先責任者 （役職名）専務執行役員 最高財務責任者 （氏名）駒田 達彦 TEL 03-3662-1638
半期報告書提出予定日 2025年11月11日 配当支払開始予定日 2025年12月9日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	61,723	△0.7	4,104	18.1	4,489	19.7	3,764	△53.1
2025年3月期中間期	62,127	4.4	3,475	103.4	3,751	74.9	8,024	215.4

（注）包括利益 2026年3月期中間期 2,862百万円（△75.4％） 2025年3月期中間期 11,636百万円（113.3％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	219.27	—
2025年3月期中間期	467.67	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	197,330	131,229	65.4
2025年3月期	196,784	130,497	65.0

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 128,959百万円 2025年3月期 128,008百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	66.00	—	90.00	156.00
2026年3月期	—	87.00			
2026年3月期（予想）			—	87.00	174.00

（注1）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

（注2）2025年3月期中間配当金の内訳 普通配当 51円00銭 特別配当 15円00銭
2025年3月期期末配当金の内訳 普通配当 75円00銭 特別配当 15円00銭
2026年3月期中間配当金の内訳 普通配当 72円00銭 特別配当 15円00銭
2026年3月期（予想）期末配当金の内訳 普通配当 72円00銭 特別配当 15円00銭

（注3）当社は、2026年3月31日（火）を基準日として、同日最終の株主名簿に記録された株主様の所有する普通株式を、1株につき4株の割合をもって分割することを予定しております。
なお、今回の株式分割は、2026年4月1日（水）を効力発生日としており、2026年3月31日（火）を基準日とする2026年3月期の期末配当金については、株式分割前の株式数を基準に実施する予定です。
詳細につきましては、本日（2025年11月10日）に開示いたしました「株式分割及び株式分割に伴う定款一部変更並びに株主還元方針の再変更に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円 127,300	% 2.0	百万円 7,200	% 2.8	百万円 8,200	% 5.6	百万円 6,900	% △32.9	円 銭 404.22

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

（1）当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 一社（社名） 一、除外 1社（社名） 大日精化加工販売株式会社

（2）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	18,113,110株	2025年3月期	18,113,110株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	1,043,090株	2025年3月期	951,919株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	17,168,328株	2025年3月期中間期	17,159,042株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、以下のとおり機関投資家・アナリスト向け決算説明会と個人投資家向け決算説明会を開催する予定です。これらの説明会で使用する資料等については、各説明会の前日までに東京証券取引所及び当社ウェブサイトにて開示・掲載する予定です。

・機関投資家・アナリスト向け決算説明会
日時：2025年12月4日（木） 10時～

・個人投資家向け決算説明会
日時：2026年1月20日（火） 14時～

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(収益認識関係)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間の当社グループの主要な販売先動向は以下のとおりとなりました。

輸送機器業界	国内市場では、自動車向けコンパウンド、着色剤については自動車メーカーの減産の影響が無くなり回復 ウレタン樹脂は採用車種の販売不振により低調に推移 海外市場では、中国向け、北米向けは低調に推移
情報電子業界	液晶ディスプレイ向け製品は、顔料は前年並みに推移、コーティング剤は第2四半期以降低調に推移 オフィス事務機器向けの顔料及び着色剤は低調に推移
包装・パッケージ業界	グラビアインキは、食料品用途など軟包装向けでは春先の天候不順などがあつたものの備蓄米関連特需などもあり、前年並みに推移 飲料ラベル用途は、飲料値上げの影響を受けたものの、前年並みに推移
建材業界	新築住宅向けの着色剤及びコーティング剤は、住宅着工件数の低迷を背景に低調に推移

以上の結果、売上高は617億2千3百万円(前年同期比0.7%減)と減収、営業利益は41億4百万円(同18.1%増)、経常利益は44億8千9百万円(同19.7%増)とそれぞれ増益になりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、特別利益に政策保有株式の売却による投資有価証券売却益6億3千5百万円を計上したことなどにより、37億6千4百万円(同53.1%減)となりましたが、前中間連結会計期間は特別利益に旧川口製造事業所跡地等の固定資産売却益77億6千万円が計上されていたため、減益となりました。

次に報告セグメントの業績についてご報告いたします。

(カラー&ファンクショナル プロダクト)

当セグメントでは、顔料・繊維用着色剤、プラスチック用着色剤、樹脂コンパウンド、顔料分散体、機能性材料など、顔料及び顔料の2次加工品を中心に製造・販売を行っています。

情報電子業界向けの顔料及び分散体の売上高は、液晶ディスプレイ用途が好調に推移しました。

一方、オフィス事務機器用途は低調に推移しました。

輸送機器業界向けのコンパウンド・着色剤は、国内は自動車メーカーの減産の影響が無くなり回復しました。海外のコンパウンド・着色剤は、全般的に低調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は、339億9千9百万円(同1.5%増)、営業利益は、22億9百万円(同47.1%増)と増収増益になりました。

(ポリマー&コーティング マテリアル)

当セグメントでは、ウレタン樹脂、天然物由来高分子、紫外線・電子線硬化型コーティング剤など、合成樹脂及び特殊コーティング剤を中心に製造・販売を行っています。

ウレタン樹脂は、採用車種の販売不振により全体として低調に推移しました。衣料品・服飾品業界のアウトドアウェア用途や産業資材業界向けの感熱記録用コーティング剤、情報電子業界向けのコーティング剤については、堅調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は、121億6千7百万円(同3.2%減)、営業利益は、13億7千2百万円(同18.5%減)と減収減益になりました。

(グラフィック&プリンティング マテリアル)

当セグメントでは、各種用途に対応した幅広い種類のグラビア・フレキソインキ、オフセットインキなど、パッケージ用及び広告出版用インキを中心に開発、製造及び販売を行っています。

食料品用途等の軟包装向けグラビアインキや、飲料ラベル用途等の包装業界向けグラビアインキは前年並みに推移しました。オフセットインキは低調に推移しました。海外のインドネシア現地法人では、競争激化等により売上が低調に推移しましたが、営業利益は収益改善を進めた事などにより好調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は155億3千5百万円(同3.1%減)と減収になり、営業利益は、5億8百万円(同74.6%増)と減収増益になりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は1,973億3千万円となり、前連結会計年度末と比べ5億4千5百万円増加しました。これは主に「現金及び預金」が減少したこと等による一方で、「投資有価証券」が増加したこと等によるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は661億円となり、前連結会計年度末と比べ1億8千5百万円減少しました。これは主に「支払手形及び買掛金」が減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は1,312億2千9百万円となり、前連結会計年度末と比べ7億3千1百万円増加しました。これは主に「為替換算調整勘定」が減少した一方で、「親会社株主に帰属する中間純利益」の計上により「利益剰余金」が増加したこと及び株主の皆様への配当金の支払いにより「利益剰余金」が減少したことなどの結果、「利益剰余金」の純増となったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結累計期間の業績及び今後の見通しを踏まえ、2025年5月15日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(2025年11月10日)に開示いたしました「投資有価証券売却益(特別利益)の計上及び連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,251	21,380
受取手形及び売掛金	51,565	51,765
棚卸資産	32,596	33,290
その他	1,838	2,091
貸倒引当金	△104	△101
流動資産合計	110,147	108,426
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,540	19,896
土地	13,222	13,194
その他(純額)	15,188	14,734
有形固定資産合計	48,952	47,825
無形固定資産		
その他	1,241	1,920
無形固定資産合計	1,241	1,920
投資その他の資産		
投資有価証券	18,514	20,639
退職給付に係る資産	15,753	15,915
その他	2,189	2,617
貸倒引当金	△15	△14
投資その他の資産合計	36,442	39,157
固定資産合計	86,636	88,903
資産合計	196,784	197,330
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,430	27,031
短期借入金	10,521	11,375
1年内返済予定の長期借入金	2,796	1,909
未払法人税等	1,158	714
賞与引当金	1,826	1,926
その他	5,336	4,560
流動負債合計	50,069	47,518
固定負債		
長期借入金	7,526	8,325
退職給付に係る負債	3,357	3,386
繰延税金負債	4,724	6,276
その他	608	593
固定負債合計	16,217	18,582
負債合計	66,286	66,100

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,039	10,039
資本剰余金	9,768	9,974
利益剰余金	90,910	93,131
自己株式	△2,046	△2,676
株主資本合計	108,673	110,469
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,758	8,364
為替換算調整勘定	8,255	6,006
退職給付に係る調整累計額	4,321	4,117
その他の包括利益累計額合計	19,334	18,489
非支配株主持分	2,489	2,270
純資産合計	130,497	131,229
負債純資産合計	196,784	197,330

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	62,127	61,723
売上原価	49,620	48,564
売上総利益	12,507	13,159
販売費及び一般管理費	9,032	9,054
営業利益	3,475	4,104
営業外収益		
受取利息	234	185
受取配当金	216	248
持分法による投資利益	42	99
その他	406	287
営業外収益合計	898	821
営業外費用		
支払利息	124	139
為替差損	207	88
固定資産賃貸費用	32	44
クレーム弁償損	196	59
その他	60	103
営業外費用合計	622	436
経常利益	3,751	4,489
特別利益		
固定資産売却益	7,760	4
投資有価証券売却益	68	635
事業譲渡益	—	450
その他	—	3
特別利益合計	7,829	1,093
特別損失		
固定資産売却損	0	6
固定資産除却損	83	55
投資有価証券売却損	29	—
工場閉鎖損失	79	—
その他	1	1
特別損失合計	194	63
税金等調整前中間純利益	11,386	5,519
法人税、住民税及び事業税	2,245	716
法人税等調整額	1,035	958
法人税等合計	3,280	1,674
中間純利益	8,106	3,845
非支配株主に帰属する中間純利益	81	80
親会社株主に帰属する中間純利益	8,024	3,764

(中間連結包括利益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	8,106	3,845
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	124	1,606
為替換算調整勘定	3,278	△2,399
退職給付に係る調整額	△154	△203
持分法適用会社に対する持分相当額	281	13
その他の包括利益合計	3,529	△983
中間包括利益	11,636	2,862
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	11,312	2,918
非支配株主に係る中間包括利益	324	△56

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年2月14日開催の取締役会決議に基づき、従業員持株会向け譲渡制限付株式インセンティブとして、2025年7月1日に219,780株の自己株式の処分並びに2025年6月27日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として、2025年7月25日に5,441株の自己株式の処分を行いました。これらの処分により、自己株式は225,221株減少しております。

また、2025年8月7日開催の取締役会決議に基づき、2025年8月8日に自己株式315,300株の取得を行いました。

これらの結果、単元未満株式の買取りによる取得も含め、当中間連結会計期間において、資本剰余金が206百万円増加、自己株式が629百万円増加し、資本剰余金が9,974百万円、自己株式が2,676百万円となっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自2024年4月1日至2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他	中間連結 損益計算書 計上額
	カラー& ファンクショナル プロダクト	ポリマー& コーティング マテリアル	グラフィック& プリンティング マテリアル	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	33,498	12,574	16,026	62,099	28	62,127
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	52	218	136	408	(408)	—
計	33,550	12,793	16,163	62,507	(379)	62,127
セグメント利益 (営業利益) (△損失)	1,501	1,684	291	3,477	△2	3,475

(注) 「その他」区分は、調整額及び報告セグメントに含まれない事業であり、不動産の賃貸借及び損害保険代理業その他の保険媒介代理業などであります。

2. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

<地域別><契約別>

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他	中間連結 損益計算書 計上額
	カラー& ファンクショナル プロダクト	ポリマー& コーティング マテリアル	グラフィック& プリンティング マテリアル	計		
日本	25,666	8,189	11,471	45,327	28	45,356
アジア	5,949	2,760	4,183	12,893	—	12,893
その他	1,881	1,624	372	3,877	—	3,877
計	33,498	12,574	16,026	62,099	28	62,127
顧客との契約から 生じる収益	33,498	12,574	16,026	62,099	20	62,120
その他の収益	—	—	—	—	7	7
外部顧客への売上高	33,498	12,574	16,026	62,099	28	62,127

<有償受給取引による売上高への影響額>

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他	中間連結 損益計算書 計上額
	カラー& ファンクショナル プロダクト	ポリマー& コーティング マテリアル	グラフィック& プリンティング マテリアル	計		
外部顧客への売上高 (総額)	53,139	12,607	16,028	81,775	28	81,804
有償受給取引による 売上相殺額	△19,641	△32	△1	△19,676	—	△19,676
外部顧客への売上高 (純額)	33,498	12,574	16,026	62,099	28	62,127

II 当中間連結会計期間(自2025年4月1日 至2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他	中間連結 損益計算書 計上額
	カラー& ファンクショナル プロダクト	ポリマー& コーティング マテリアル	グラフィック& プリンティング マテリアル	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	33,999	12,167	15,535	61,702	21	61,723
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	60	204	141	407	(407)	—
計	34,060	12,372	15,677	62,109	(385)	61,723
セグメント利益 (営業利益)	2,209	1,372	508	4,089	14	4,104

(注) 「その他」区分は、調整額及び報告セグメントに含まれない事業であり、不動産の賃貸借などでありま
す。

2. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

<地域別><契約別>

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他	中間連結 損益計算書 計上額
	カラー& ファンクショナル プロダクト	ポリマー& コーティング マテリアル	グラフィック& プリンティング マテリアル	計		
日本	26,515	8,182	11,451	46,148	21	46,169
アジア	5,665	2,629	3,654	11,949	—	11,949
その他	1,818	1,356	429	3,604	—	3,604
計	33,999	12,167	15,535	61,702	21	61,723
顧客との契約から 生じる収益	33,999	12,167	15,535	61,702	20	61,723
その他の収益	—	—	—	—	0	0
外部顧客への売上高	33,999	12,167	15,535	61,702	21	61,723

<有償受給取引による売上高への影響額>

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	中間連結 損益計算書 計上額
	カラー& ファンクショナル プロダクト	ポリマー& コーティング マテリアル	グラフィック& プリンティング マテリアル	計		
外部顧客への売上高 (総額)	53,559	12,200	15,536	81,297	21	81,318
有償受給取引による 売上相殺額	△19,560	△33	△1	△19,594	－	△19,594
外部顧客への売上高 (純額)	33,999	12,167	15,535	61,702	21	61,723

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

(株式分割及び株式分割に伴う定款一部変更並びに株主還元方針の再変更)

当社は、2025年11月10日開催の取締役会において、株式分割及び株式分割に伴う定款一部変更並びに2024年6月に公表いたしました3か年中期経営計画「明日への変革 2027」(以下、「本中期経営計画」といいます。)中に実施予定の株主還元方針の再変更を行うことを決議しました。

1. 株式分割

(1) 株式分割の目的

当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げることににより、より多くの投資家の皆さまが投資しやすい環境を整えることで、投資家層の拡大と当社株式の流動性の向上を図ることを目的としております。

(2) 株式分割の概要

① 株式分割の方法

2026年3月31日(火)を基準日として、同日最終の株主名簿に記録された株主様の所有する普通株式を、1株につき4株の割合をもって分割いたします。

② 分割により増加する株式数

株式の分割前の発行済株式総数	18,113,110株
株式の分割により増加する株式数	54,339,330株
株式の分割後の発行済株式総数	72,452,440株
株式の分割後の発行可能株式総数	200,000,000株

③ 分割の日程

基準日公告日(予定)	2026年3月13日(金)
基準日	2026年3月31日(火)
効力発生日	2026年4月1日(水)

④ その他

今回の株式分割は、2026年4月1日(水)を効力発生日としており、2026年3月31日(火)を基準日とする2026年3月期の期末配当金については、株式分割前の株式数を基準に実施いたします。

また、今回の株式分割に際し、資本金の額の変更はありません。

2. 定款一部変更

(1) 定款変更の理由

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、2026年4月1日(水)をもって、当社定款第6条で定める発行可能株式総数を以下のとおり変更いたします。

(2) 定款変更の内容

(下線は変更部分を示します。)

現行定款	変更後
(発行可能株式総数)	(発行可能株式総数)
第 6 条 当社の発行可能株式総数は、 <u>5,000</u> 万株とする。	第 6 条 当社の発行可能株式総数は、 <u>20,000</u> 万株とする。

(3) 日程

定款変更の効力発生日 2026年4月1日(水) (予定)

3. 株主還元方針の再変更

(1) 株主還元方針再変更の理由

今回の株式分割に伴い、本中期経営計画中に実施予定の株主還元方針について、以下のとおり変更いたしますが、当該変更は株式分割の実施により調整を行うものであり、従来の方針から実質的な変更はありません。

なお、変更後の方針は、株式分割後の株式数が対象となる2027年3月期より適用いたします。

(2) 株主還元方針再変更の内容

(下線は変更部分を示します。)

	変更前	変更後
株主還元方針	本中期経営計画期間中(3か年)平均の総還元性向50%以上、ただし1株当たり年間配当金の下限を <u>100円</u> とする普通配当	本中期経営計画期間中(3か年)平均の総還元性向50%以上、ただし1株当たり年間配当金の下限を <u>25円</u> とする普通配当
総還元性向 の内訳	①普通配当※	配当性向40%以上
	②自己株式の取得	状況を勘案しながら機動的に実施
特別配当方針	当社旧川口製造事業所跡地の譲渡益から法人税等控除後のものを、2024年3月期から2027年3月期の4期間にわたり、每期1株当たり30円の特別配当(総額約20億円)として実施	当社旧川口製造事業所跡地の譲渡益から法人税等控除後のものを、2024年3月期から2027年3月期の4期間にわたり、 <u>2024年3月期から2026年3月期の3期間は</u> 每期1株当たり30円、 <u>2027年3月期は</u> 1株当たり7円50銭の特別配当(総額約20億円)として実施

※2025年3月期については、当社旧川口製造事業所跡地の譲渡益を配当原資の範囲から除外して実施

(3) 適用期間

上記株主還元方針の変更は、引き続き本中期経営計画期間中に適用されるものとし、本中期経営計画期間の終了時点で見直しを行うこととします。

なお、本中期経営計画期間中において、災害や経済危機等により会社経営に重大な影響を及ぼす事象が生じた場合は、本方針を見直す可能性があります。